

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与 3		作成日		30年 6月 29日		
事務事業名		公民館諸事業経費				シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	3 心豊かなまち				課名	社会教育課		係名	生涯学習係
		3-1 生涯学びのあるまちをつくる				シート作成者				
	施策	3-1-3 生涯学習の推進				予算費目	会計		一般	
							款		10	
主要施策	③ 特色ある生涯学習プログラムの整備と提供				項		5			
	⑤ 学習成果の活用 ⑥生涯学習に参画する人材の育成				目		3			
個別計画名										
住民との関わり		住民の自主活動に対する支援（「場」の提供、資金援助、情報提供）								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）			目的（どういう状態にしたいのか）						
	町民（利用者）			地域の学習拠点、家庭教育支援拠点として利用者のニーズに応じた運用を検討するなど施設の有効利用、利便性を図る。						
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		中央公民館での作品展覧会やクラブ・サークル活動の充実、また、生涯学習の企画運営に参画するコーディネーター（指導者含む）を募集し、人材の発掘と育成を図るとともに、若者から高齢者までを対象とした学習機会の拡充に努める。								
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 1年度 ~ 平成 年度（年間） <input type="checkbox"/> 期間設定なし								
根拠法令・要綱等		社会教育法（生涯学習振興法）								
		平成28年度（決算）		平成29年度（決算）		平成30年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		0		3,633		6,233				
財源内訳	国庫支出金		0		0		0			
	県支出金		0		0		0			
	地方債		0		0		0			
	その他特定財源		0		0		0			
	一般財源		0		3,633		3,791			
直接事業費（千円）A		0		3,633		3,791				
人件費（千円）B		0		0		2,442				
内訳	一般職員（人・千円）		0.00 人		0		0.37 人		2,442	
	臨時職員（人・千円）		0.00 人		0		0.30 人		0	
成果指標	成果指標名			単位	29年度		30年度	31年度		
					目標	実績	（目標）	（目標）		
	①	公民館施設利用者数		人	20,000	29,387	20,000	20,000		
	②									
③										
説明	中央公民館各施設（部屋）において、さまざまな学習等活動が行われ、多団体に利用されていることから、利用者数を成果指標とする。									

事業名		公民館諸事業経費		シート作成課		社会教育課		
一次評価者		社会教育課長		二次評価者		教育委員会事務局長		
評価項目の説明	チェック項目			一次	二次	一次の評価又は説明		
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	中央公民館での作品展示会やクラブ・サークル活動、その他公共的な利用のために施設を提供することから、適切に維持管理する必要があります。	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	生涯学習の観点から、講習室や研修室、茶室をはじめ、調理実習室、美術工芸室など各施設に該当する分野の活動に相応した利用がなされています。	
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	文化協会に委託する公民館講座や一般のサークル・クラブ、展示会などが数多く実施されています。	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	平日の昼夜および休日の利用について、定期的に利用がない区分があるため、中央公民館のメンテナンス等再考する必要があります。	
本事務事業の実施適切性の説明								
中央公民館での作品展示会やクラブ・サークル活動、その他公共的な利用のために施設を提供することから、適切な維持管理を行います。								
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	(8) B (8) A (7) (7) (7) A (6) D (6) C (2) (5)(6) (8)		
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続		
今後の改革・改善目標	利用料については、受益者負担の原則を基本とし、各施設の利用状況および県内公民館の状況も含め調査研究し、検討する必要があります。 総合文化センターの運営、管理については、文化会館と中央公民館の複合施設であることから、当面の間、直営としているが指定管理等への移行を常に検討する必要があります。							
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	4	4	(8) B (8) A (7) (7) (7) A (6) D (6) C (2) (5)(6) (8)		
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続		
コメント	中央公民館の利用にあつては、多岐にわたる学習活動団体が利用し、また公民館の目的とする「地域の学習拠点としての機能の発揮」「地域の家庭教育支援拠点としての機能の発揮」「奉仕活動・体験活動の推進」「学校、家庭及び地域社会との連携等」に努めることが必須であることから、今後も利用数や改定した利用料等を静観します。							
二次評価に対する課の考え方								
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1 現在の手段を継続する				